

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	通年	教室名	303教室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》						
各科目で学んだ専門知識をドキュメント化し、インターネット上に公開することを通じて、自ら知識を体系化する能力、および技術を発信する姿勢を獲得・形成する。LTを通じて、他人に簡潔・明快に伝えるテクニックを習得する 英文でのドキュメンテーションを通じて、グローバルなIT人材に必要とされる英語力を獲得する						
《成績評価の方法と基準》						
課題 70% 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する 出席 20% 平常 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考文献)一生使える見やすい資料のデザイン入門 世界一わかりやすい英作文の授業 ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照						
《授業外における学習方法》						
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。						
《履修に当たっての留意点》						
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの基本を身につける(1)	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	3つのCの概念、Correct, Clear, Conciseを学ぶ			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの基本を身につける(2)	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	Correctのテクニックを学ぶ			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの基本を身につける(3)	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	Clear&Conciseのテクニックを学ぶ			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの基本を身につける(4)	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	センテンスとパラグラフについて学ぶ			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの基本を身につける(5)	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	文章の概念と表記法について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの英文法を身につける(1)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	名詞の取り扱いを学ぶ		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの英文法を身につける(2)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	主語と動詞の使いかたについて学ぶ		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの英文法を身につける(3)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	文型について学ぶ		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの英文法を身につける(4)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	時制・能動態・受動態について学ぶ		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの英文法を身につける(5)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	助動詞・前置詞について学ぶ		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの英文法を身につける(6)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	to不定詞・現在分詞・過去分詞について学ぶ		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの英文法を身につける(7)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	比較について学ぶ		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの英文法を身につける(8)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	関係代名詞と関係副詞について学ぶ		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	生成AIの活用方法を理解する(1)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	生成AIを利用した英文作成方法を学ぶ		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	生成AIの活用方法を理解する(2)	PC 参考文献 テキストなど	なし
		各コマにおける授業予定	生成AIを利用した文章のチェックの仕方を学ぶ		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	人工知能学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名	テクニカルドキュメンテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	通年	教室名	303教室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、企画書、設計書などの技術資料、プレゼンテーションなどを多数行っている。			
《授業科目における学習内容》						
各科目で学んだ専門知識をドキュメント化し、インターネット上に公開することを通じて、自ら知識を体系化する能力、および技術を発信する姿勢を獲得・形成する。LTを通じて、他人に簡潔・明快に伝えるテクニックを習得する 英文でのドキュメンテーションを通じて、グローバルなIT人材に必要なとされる英語力を獲得する						
《成績評価の方法と基準》						
課題 70% 年間を通して最低2テーマについてドキュメント化する 出席 20% 平常 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考文献)一生使える見やすい資料のデザイン入門 世界一わかりやすい英作文の授業 ※各自特集したい技術についての記述がある文献を参照						
《授業外における学習方法》						
インターネット上のあらゆる技術資料を探し、分かりやすい資料の特徴を掴み、自身がこれから作成するドキュメントに反映させましょう。その為には、授業外の時間を有効に活用し、1つでも多くの文献に目を通すこと。						
《履修に当たっての留意点》						
技術1つを取っても、そこにはあらゆる基礎技術の上に成り立つものがほとんどである。すなわち選択した技術テーマを特集しドキュメント化するためには、これら基礎技術についての知識が必須であることを念頭に作業すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの応用について理解する(1)	PC 参考文献 テキストなど	なし	
		各コマにおける授業予定	英文による技術論文の構成と書き方について学ぶ			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの応用について理解する(2)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	英文による提案書の構成と書き方について学ぶ			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの応用について理解する(3)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	英文の説明書の構成と書き方について学ぶ			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの応用について理解する(4)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	英文の仕様書の構成と書き方について学ぶ			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの応用について理解する(5)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと	
		各コマにおける授業予定	英文の技術報告書の構成と書き方について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	ライティングの応用について理解する(6)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	英文の特許明細書の構成と書き方について学ぶ		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランのテーマについて検討する(1)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランの創出を行う		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランのテーマについて検討する(2)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランの創出を行い、課題を明確化する		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランのテーマについて検討する(3)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランのプレゼンテーションの構成を考える		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランのテーマについて検討する(4)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(1)		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランのテーマについて検討する(5)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(2)		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	ビジネスプランのテーマについて検討する(6)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	ビジネスプランとプレゼンテーションの作成(3)		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション資料を英語で作成できる(1)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの英文化(1)		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション資料を英語で作成できる(2)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの英文化(2)		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション資料を英語で作成できる(3)	PC 参考文献 テキストなど	日頃から社会課題に目を向け、社会動向についての情報収集を行うこと
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの英文化(3)		